

平成 29 年度（初年度）  
経営発達支援計画事業  
経営発達支援計画推進委員会評価  
結果報告書（概要版）

平成 30 年 7 月 27 日

調布市商工会  
経営発達支援計画推進委員会事務局



## 経営発達支援計画事業について

平成26年6月に商工会および商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律（平成5年法律第51号）の一部改正で、小規模事業者の事業の持続的発展を支援するため、商工会および商工会議所が小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援することや地域活性化にもつなげる展示会の開催等の面的な取組みを促進するため、商工会および商工会議所が作成する支援計画のうち小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に特に資するものについての計画を経済産業大臣が認定する仕組みの導入に伴い、当会は平成29年3月17日（第4回）付で当該計画の認定を受け、平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3年間本経営発達支援計画事業（以下、本事業と表記）を実施する。

本事業の実施にあたっては調布市や調布市観光協会、調布市産業労働支援センター、地域金融機関等々の諸機関と有機的に連携し、市内事業者の持続的発展に向けたワントゥワンによる伴走型の支援を通じて、調布市基本計画（平成27年2月修正）における産業振興の中長期的な展望である「活力ある産業の推進」に寄与するため、次の5項目を本事業実施期間における本事業の目標とする。

- 【目標1】調布市商工まつり等を通じて「にぎわいを創出する商店街等の支援」を行う。
- 【目標2】地域ポータルサイト「ちょうふどっとこむ」等と連携して「バイ調布運動の促進」による市内消費の喚起と拡大を調布市等関連機関と有機的に連携して支援する。
- 【目標3】市内事業者の持続的発展に向けたワントゥワンによる伴走型支援を行うと共に、物産展等への出展支援を通じた新たなビジネスチャンスの創造等「市内事業所・事業者への支援」を行う。
- 【目標4】東京都商工会連合会や調布市産業労働支援センター等とも連携し「新たな創業への支援」を行う。
- 【目標5】自然や史跡等魅力溢れる高い集客ポテンシャルをもった多種多様な地域資源を活用し、「特性を生かした地場産業の振興」への取組みを支援する。

これら本事業の目標を実現させるため、運営方針の根幹を市内小規模事業者の太く、みじか（身近・短か）な経営ホットコーナー『FRESH FAST FRIENDLY（3F）な商工会』におき、次に掲げる5項目の方針の下に、市内事業者がいつでも気軽に経営に関する相談ができる開かれた体制と仕組みを持って当該事業者の経営基盤の充実強化、事業の持続的発展に向けた取

組みにワントゥワンによる伴走型支援を行うと共に、新たに事業を始めた人の円滑なスタートアップと早期なテイクオフ及び事業を新たに始めたい人の起業に向けた事業計画の策定支援等々、地域経済の活性化に資する本事業を推進する。

**【方針1】 地域経済の活性化**

既存事業者には、事業環境の急激な変化への対応力向上や、事業の継続に向けた取組み等について、創業者等には、その円滑なスタートアップと早期なテイクオフに向けた取組み等について、各種機関と連携し、個々の事業者の抱える経営上の問題・課題の解決を行い、経営基盤の健全化、事業活力の強化・向上に向けワントゥワンによる伴走型支援により当該事業者の持続的発展を図ることを通じて地域経済の活性化に寄与する。

**【方針2】 ビジネスチャンスの創造**

事業者の業種・業態に応じて、物産展等への出展支援やECサイト登録支援、近隣地区の商工会や地域金融機関等と連携したビジネスマッチング商談会の開催やものづくり企業データベース検索システムの整備と登録促進、Web版住まいの便利帳への登録支援等に取り組み、新たな販売機会の創出や流通チャネルづくり、販路開拓等、持続的な発展に向け新たなビジネスチャンスの創造を支援する。

**【方針3】 にぎわいのまちづくりの支援**

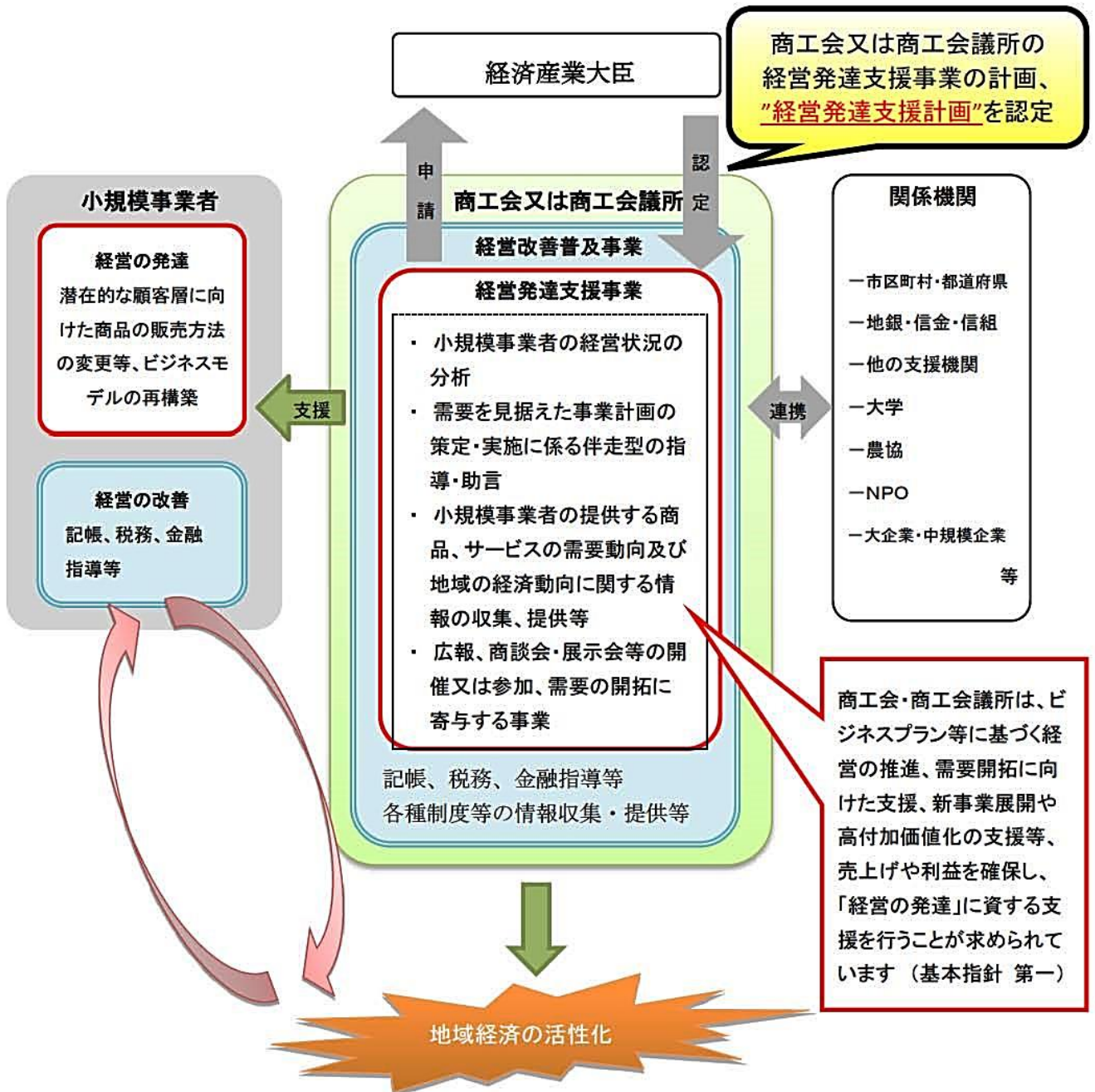
「映画のまち 調布」の認知度を高める調布市や調布市観光協会等が行う活動に協働して取組むと共に、ラグビーワールドカップ2019の開催や2020年オリンピック・パラリンピックの開催を機にインバウンドへの対応等、新たな事業機会の創出への取組み事業を支援し「にぎわいのまちづくり」に寄与する。

# 目次

I. 経営発達支援計画推進委員会について	1
II. 総括	3
III. 経営発達支援事業および各事業に対する委員会評価	
1. 経営発達支援事業	
【1】地域の経済動向調査【指針③】	10
【2】経営状況の分析【指針①】	12
【3】事業計画策定支援【指針②】	14
【4】事業計画策定後の実施支援【指針②】	15
【5】需要動向調査【指針③】	17
【6】新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	18
2. 地域経済の活性化に資する取組	23
3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	
【1】他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	28
【2】経営指導員等の資質向上等	30
【3】事業の評価及び見直しをするための仕組み	32

# 改正小規模事業者支援法に基づく支援イメージ

【地域ぐるみで小規模事業者を面的に支援する体制】



# I. 経営発達支援計画推進委員会について

平成 29 年 3 月 17 日（第 4 回）付で経済産業大臣の認定を受け、平成 29 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの 3 年間実施する経営発達支援計画事業について、認定を受けた事業計画の実施状況および成果と課題等を検証、評価し、必要に応じて事業実施計画の見直し、改善等を事務局に提言する。

委員会は、調布市商工会会長、副会長（2 名）、商業部会長、工業部会長、建設業部会長、サービス業部会長、調布市産業振興課副参事、調布市産業労働支援センター担当課長、中小企業診断士等専門家で構成し、毎年度開催する。

なお、今年度は次の要領で開催した。

日 時：平成 30 年 7 月 4 日（水） 10：00～12：00

会 場：調布市商工会 3 階 会議室

出席者：委員長：田中中小企業診断士

委 員：柳澤商工会会長、田中副会長、岸副会長、秋沢商業部会長、  
霜山工業部会長、渡部建設業部会長、高橋サービス業部会長、  
川見調布市産業労働支援センター担当課長

事務局：横田事務局長、経営指導員、記帳相談員およびビジネス・サポート・サービス（BSS）

次 第：1. 開会

2. 調布市商工会会長 挨拶

3. 委員長 挨拶

4. 委員紹介

5. 経営発達支援計画事業の概要説明

（事務局）・・・経営発達支援計画推進委員会資料①

6. 経営発達支援計画事業「平成 29 年度実施報告書」評価表の記入要領案内

（事務局）・・・経営発達支援計画推進委員会資料②

7. 経営発達支援計画事業平成 29 年度（初年度）実施報告書の説明、質疑応答、評価表記入

（事務局）・・・経営発達支援計画推進委員会資料③

<進行要領>

・事業ごとに

・事業概要および実績等の報告（事務局）

・質疑応答

・評価表に評点およびコメントを記入

8. 本事業全般に関する意見交換

9. 閉会（委員長）



## II. 総括

◆各事業に対する委員会評価および総評は次の通りである。

1. 経営発達支援事業

事業	評点				
	A	B	C	D	E
【1】地域の経済動向調査【指針③】		○			
【2】経営状況の分析【指針①】		○			
【3】事業計画策定支援【指針②】			○		
【4】事業計画策定後の実施支援【指針②】			○		
【5】需要動向調査【指針③】		○			
【6】新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】		○			

2. 地域経済の活性化に資する取組

事業	評点				
	A	B	C	D	E
地域経済の活性化に資する取組		○			

3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	評点				
	A	B	C	D	E
【1】他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換		○			
【2】経営指導員等の資質向上等		○			
【3】事業の評価及び見直しをするための仕組み		○			

※評点の目安

評点	評価内容	目安
A	目標を達成している。	100%以上
B	概ね目標を達成している。	80%～99%
C	目標を半分程度しか達成していない。	30%～79%
D	目標をほとんど達成していない。	30%未満
E	未実施	——

#### 4. 総評

事業	評点				
	A	B	C	D	E
経営発達支援計画全体		○			

委員会コメント
<p>①初めての事業としてはその目標達成に向けた取組みはしっかり行っていると評価できる。</p> <p>②概ね目標どおり進んでいることから引き続き事業のスムーズな運営を期待する。</p> <p>③今年度達成できなかった項目については、今年度の実績や委員会での意見等を踏まえ運営、推進方法を見直し、改善を図って目標の達成に取り組んで欲しい。</p> <p>④限られた人員で多くの事業の運営、実施に取り組む職員の努力は分かる。</p> <p>⑤行政等からの情報提供が早期に受けられるよう関係機関との連携を更に密にしていただきたい。</p> <p>⑥報告書としては良くできている。</p> <p>⑦報告書の表現や表記を工夫してもう少し分かりやすい内容にして欲しい。</p> <p>⑧調布市商工会として数年前と比べレベルアップしている。</p>



### Ⅲ. 経営発達支援事業および 各事業に対する委員会評価



# 1. 経営発達支援事業

## 【1】地域の経済動向調査【指針③】

### 事業概要

事業の持続的発展には事業環境の現状と今後の動向を見据えた事業計画の策定、あるいは見直しを行うことが非常に重要であることから、定期的に地域経済の動向調査を行う。また、京王線調布駅周辺の再開発事業により新たに生じる商業集積施設が市内商工事業者にあぼす影響度について同施設開業後の調査を行う。

### 実施結果

#### 1. 平成 29 年度実績

項目	目標	実績	差異	達成率 (%)
地域経済動向調査実施結果の公表（回）	4	4	0	100.0
再開発事業影響調査実施結果の公表（回）	2	2	0	100.0

#### 2. 地域経済動向調査

市内事業者の業種構成比率を基に 50 社を選定し、四半期ごと調査を行った。

#### 3. 再開発事業影響調査

京王線調布駅地下化に伴う同駅上の再開発によって経営に大きな影響を受けると当会で推察した当該商業施設を中心に半径 1.5 km 程度のエリアにある小売業、サービス業、飲食業の 3 業種の営利法人および個人事業者から業種別構成比率に応じて各業種から無作為に 800 事業者を抽出し、調査票を郵送、返送の方法で、平成 29 年 10 月 31 日（商業施設オープン後 1 カ月時）および平成 29 年 12 月 31 日（商業施設オープン後 3 カ月時）の 2 回実施した。

### 成果と課題

#### 1. 成果

- ①地域経済のナマの動向がほぼリアルタイムに把握することが出来るようになったことで、個別経営相談時において実態を踏まえた助言や支援がよりスムーズに行えるようになった。
- ②補助金活用にあたっての事業計画作成等の経営改善普及事業における指導資料として有効活用している。
- ③経営計画作成セミナー参加者の事業計画作成にあたって足下商圈の生きた経済動向資料として活用でき、より具体的な計画書作成に役立っている。
- ④当会のホームページや商工会報に調査結果報告書を掲載したことで自らの事業の持続的発展に向けて取組む事業者の有力な情報として活用されている。
- ⑤調布市の施策立案等における有力なナマ資料としても活用されている。



2. 課題

- ①地域経済動向調査においては、当会として初めての試みということもあって調査結果を行政機関や民間企業等の同様のオープンデータ等との比較検討に時間がかかり公表時期が当初予定よりやや遅れた。
- ②再開発事業影響調査においては、調査対象件数は当初目標件数を確保している。しかしながら調査票の回収率が想定していた数値に届かず本調査の意義と重要性が調査対象事業者十分に届いていなかったのでは、また、同調査の回答時期が調査対象業種における繁忙期と重なったことで調査票に記入する時間が確保できなかったのでは、等々のことが要因ではないかと推察する。

3. 見直しの有無

前項の課題を踏まえ、本事業は平成30年度次のように見直す。

①地域経済動向調査

調査の実施時期および回数を次の通りとする。

第1回：上半期（平成30年4月1日～同年9月30日）

第2回：下半期（平成30年10月1日～平成31年3月31日）  
の年2回

②再開発事業影響調査

当会が実施した本調査結果を踏まえて今年度調布市が当該商業施設に来訪する消費者を対象とした対面アンケートおよび事業者調査を実施する予定であることから重複による費用等の無駄をしないため、調布駅地下化に伴う再開発事業で新たにオープンした商業施設の開業1年後に実施する予定だった本調査は行わない。

委員会評価とコメント

評価	コメント
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>①調査の実施および回数については達成できている。</li> <li>②回収目標はほぼ達成している。</li> <li>③回収数が少ないのではないかと。回収率を30%程度にまでのアップを目指した方がより調査結果への信頼性が高まる。</li> <li>④設問内容や形式など調査票の設計および調査時期や調査対象者等の見直しを行って欲しい。</li> <li>⑤より精度の高いデータとなることを期待する。</li> <li>⑥3月末時点における動向調査があればよかった。</li> <li>⑦調査結果がどのような形でどの程度活用できたのかが分かるようにすると良い。</li> <li>⑧同様な他のオープンデータとの比較を行って調布市の景況等がより明確に分かるようになると良い。</li> <li>⑨ホームページ（HP）へのアクセス数やダウンロード数などがどのくらいあったかを確認し、調査結果がより有効に活用されるよう、それらがHPに掲載されていることについての告知やPR活動をもう少し積極的に行った方が良い。</li> </ul>

## 【2】経営状況の分析【指針①】

### 事業概要

事業の持続的発展のためには自社の強み・弱みを明確にした取組みが肝要であることから、自社の強み・弱みを理解するセミナー等や経営指導員による巡回・窓口相談等を通じて小規模事業者の経営分析を支援する。

### 実施結果

#### 1. 平成 29 年度実績

##### (1) 経営分析実施事業

###### ①経営分析実施事業社数

支援内容	目標	実績	差異	達成率 (%)
経営分析実施事業社数 (社)	50	67	17	134.0

###### ②経営分析内容別実績件数

経営分析	実績	構成比
資金繰りや収益性、安全性等に関する財務分析	39	58.2
社内の体制とその使命、役割等に関する事業運営分析	26	38.8
人財の確保や育成、評価制度等に関する人事労務分析	0	0
広告宣伝や販路開拓といったマーケティング分析	2	3.0
個人情報管理などのリスクに対する危機管理分析	0	0
その他	0	0
合計	67	100

##### (2) 「クラウド活用セミナー」等セミナー開催事業

支援内容	目標	実績	差異	達成率 (%)
「クラウド活用セミナー」等 セミナー開催回数 (回)	13	8	△5	61.5
上記セミナー参加者数 (人)	260	349	89	134.2

#### 2. 巡回訪問事業

経営指導員や巡回相談員等が市内商工事業者の事業所を個別に巡回しながら当該事業者からの経営に関する相談を受けその対応要領等について助言や指導、支援等を行った。

#### 3. 窓口相談事業

当会事務所に経営に関する相談等で来会した市内商工事業者に対して経営指導員、補助対象職員およびその他の補助事業従事者が面談による指導、支援を実施した。

#### 4. 経営分析事業

市内商工事業者の経営の現状を把握したうえで中小企業活力向上事業またはエキスパートバンク制度もしくは多摩・島しょ経営支援拠点事業等による当該事業者の持続的発展に向けた取組みを指導、支援した。

<p>5. 「クラウド活用セミナー」等セミナー開催事業</p> <p>市内商工事業者の経営者が自社の経営問題を見つけ出す経営状況の分析力の向上やSEO対策によるHPの活用等、自社の問題を発見する知見とノウハウを習得するセミナー、および従業員等の実務スキルのアップ等による人財の育成を支援した。</p>	
<p>成果と課題</p>	
<p>1. 成果</p> <p>①セミナー受講者は自らの意思で受講するため受講効果が高い。</p> <p>②参加者の大半が満足していたので、参加した小規模事業者の今後の経営改善の一助となった。</p> <p>2. 課題</p> <p>①テーマや開催時期等によって集客にバラツキがあった。</p> <p>②小規模事業者のニーズに合ったテーマ、講師の選定が容易ではない。</p> <p>3. 見直しの有無</p> <p>見直しは行わず当初計画に沿って継続実施。</p>	
<p>委員会評価とコメント</p>	
<p>評価</p>	<p>コメント</p>
<p>B</p>	<p>①経営分析の件数は達成できている。</p> <p>②経営課題の把握については更に一步踏み込んだ分析が必要である。</p> <p>③経営分析内容別実績件数に記載された実績と実際の経営分析内容とに集計上の違いがあるのではないか。資金繰りや資金調達、経営の安全性や収益性等に関連する財務分析や事業運営に関する分析件数に対して広告宣伝や販路開拓等のマーケティング分析の件数が少ない。一度に複数の問題で対応した場合の集計方法等の見直しを検討して欲しい。</p> <p>④セミナーについては、初年度の取組みとしては評価できる。</p> <p>⑤今年度のセミナー実績は効果的だったと評価できる。</p> <p>⑥次年度以降は今年度の結果から浮かび上がった問題点を改善することでより効果の高い事業者および受講者に役立つセミナーとなる。</p> <p>⑦セミナーによって参加人数のバラツキが大きい。会員事業者の抱える課題をしっかりと把握したうえでセミナーのテーマと内容を見直し、参加者のバラツキをなくすより効果的なセミナーの開催に勤めて欲しい。</p> <p>⑧セミナーテーマについては、他の商工会や商工会議所等の事例を参考に情報を収集して取組んで欲しい。</p> <p>⑨巡回訪問相談の進め方を見直して欲しい。</p> <p>⑩巡回訪問事業においては、会員事業者を中心に市内事業者に商工会事業のPR活動を行うことが重要で訪問件数を重視するのは分かるが、その一方で同一事業者を複数回訪問するなどの集中巡回による事業者の経営上の悩みや問題を掘り起こす取組みも必要なのではないか。</p> <p>⑪巡回訪問事業は会員の継続維持にとって重要な取組みなので地道に継続して欲しい。</p>

### 【3】事業計画策定支援【指針②】

#### 事業概要

事業の持続的発展には将来のビジョンに基づく事業計画に沿った経営が重要であることから、巡回訪問、窓口相談、セミナー開催等で事業計画の策定を支援する。

#### 実施結果

##### 1. 平成 29 年度実績

支援内容	目標	実績	差異	達成率 (%)
事業計画策定支援事業社数 (社)	40	30	△10	75.0
創業事業計画策定支援者数 (者)	32	18	△14	56.3
「事業計画策定セミナー」の開催 (回)	1	4	3	400.0
上記セミナー参加者数 (人)	30	56	26	186.7
創業塾・創活塾開催回数 (回)	4	4	0	100.0
創業塾・創活塾参加者数 (人)	32	22	△10	68.8

##### 2. 事業計画等の策定支援

経営革新、経営向上計画、小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金等その他補助金に関する事業計画の作成を支援した。

#### 成果と課題

##### 1. 成果

- ①セミナーを受講した創業予定者に自信が生まれた。
- ②セミナーを受講した創業予定者と協会との間にネットワークが生まれた。
- ③作成された事業計画に沿ったその後の支援が進めやすくなった。

##### 2. 課題

- ①創業補助金の募集スケジュールの決定、案内から申請書の作成、提出するまでの時間に十分な余裕が取れない。
- ②創業補助金を申請し、承認を得る時期と創業事業の立上げ時とのタイミングが合わない。

##### 3. 見直しの有無

見直しは行わず当初計画に沿って継続実施するものの、創業補助金事業については創業時申請を支援する一方で、創業後 1～2 年ほど経過した事業者の補助金申請を支援する等、創業事業の円滑なテイクオフに向けた取組みをフォローする。

## 委員会評価とコメント

評価	コメント
C	<p>①初年度としては努力していると評価できる。</p> <p>②事業計画等策定支援事業における経営革新の計画策定支援にも意識して取り組んで欲しい。</p> <p>③経営革新事業に注力して欲しい。</p> <p>④前項課題で取り上げた問題への対応は難しいだろうけど市内商工事業の活性化には重要なことなのでその対策をお願いしたい。</p> <p>⑤創業補助金事業の申請支援については、当該事業の募集時期と事業者のスタートアップ時期とが合致しないケースがあるが、創業予定者だけではなく創業後1～2年ほど経過した事業者に対しての申請支援にも取り組む等、対応して欲しい。</p> <p>⑥創業塾・創活塾で商工会事業のPRをすると共に、講座終了後に受講者へ創業に向けた取組みのフォローを行い当会への入会を図って欲しい。</p> <p>⑦創業したいと思っている人は地元で勤務する人が多いと思うので、創業塾・創活塾の開催と募集に関するPR方法について検討いただきたい。</p> <p>⑧創業塾・創活塾の参加者への捉え方等について検討を要するのではないかな。</p>

### 【4】事業計画策定後の実施支援【指針②】

#### 事業概要

前項の事業計画策定支援で策定した事業計画の実現に向けた取組みに関する進捗管理等、きめ細かな伴走型支援を行う。

#### 実施結果

##### 1. 平成29年度実績

支援内容	目標	実績	差異	達成率 (%)
事業計画策定支援事業者に対する策定後の実施支援事業社数(社)	40	14	△26	35.0
事業計画策定支援事業者に対する「事業計画進捗フォローアップ」件数(延べ回数)	160	68	△92	42.5
創業事業計画策定支援者に対する策定後の実施支援事業者数(者)	32	18	△14	56.3
創業事業計画策定支援者に対する「事業計画進捗フォローアップ」件数(延べ回数)	64	39	△25	60.9

2. 事業計画策定支援事業者に対する「事業計画進捗フォローアップ」  
事業計画の策定を通じて補助金申請を支援し採択された事業者については、2～3カ月に1度当該事業の取組み状況や当該事業の終了に向けた対応要領等を確認しつつ助言と支援を行うと共に、補助金申請を支援し残念ながら採択されなかった事業者についても2～3カ月に1度巡回訪問を行い、申請事業に対する取組み等持続的発展に向けた助言と支援を行った。
3. 創業事業計画策定支援者に対する「事業計画進捗フォローアップ」  
創業塾等を卒業し創業に向けて実際に取組む事業者に対しては、調布市産業労働支援センターの相談員が個別に具体的な支援を行った。

### 成果と課題

1. 成果
- ①小規模事業者が作成した事業計画の目標等が共有できたことで、その進捗状況と新たに生じた問題・課題の解決に向けた経営支援等のフォローがより具体的、実践的に進められた。
  - ②新たに生じた問題・課題の解決に向けた経営支援等の取組み内容とその方法等によっては専門家派遣事業を効果的に活用し、当該事業者の持続的発展に寄与することができた。
2. 課題
- ①事業計画策定支援事業者および創業事業計画策定支援者の事業計画策定後の実施支援事業社数および事業計画進捗フォローアップ件数が目標の半分程度の実績であった。
  - ②事業計画を達成するに要する資金面や人財面等の経営資源が十分でないケースもあり、その実現に向けたフォローアップに多くの時間がかかったり事業計画の達成時期を見直す等、事業計画の実現に向けた取組みを進めていく際のハードルが高い事案があった。
3. 見直しの有無
- 本事業は3年間にわたって取組むことから当初計画した目標件数についての見直しはせず、その達成に向けて専門家派遣事業等の効果的活用を進める等、目標達成に向けた諸施策をより積極的に活用していく。

### 委員会評価とコメント

評価	コメント
C	<p>①事業計画および創業計画の作成を支援した件数48件に対して策定後の実施支援事業社数が14件であり、本事業の目標40件に対しての達成率が35.0%と目標件数の達成度が低い。目標の達成率を高めて欲しい。</p> <p>②目標の設定に問題があったのでは。これまでの実態を踏まえた目標設定にしたかどうか。</p> <p>③会員事業者にとっても大切かつ重要な支援事業なので、事業計画策定支援事業者に対する策定後の実施支援事業件数および事業計画進捗フォローアップ件数の目標達成率の向上と共に、支援内容の充実に努めていただきたい。</p>

## 【5】需要動向調査【指針③】

### 事業概要

市内事業者を取り巻く外部環境が激変する現下、事業者の販売する商品、提供するサービスの需要動向の実態等、必要な情報を分かりやすくレポート等にまとめ情報提供することで新たな販路の開拓や新商品等の開発に活かせるような仕組みづくりを行う。

### 実施結果

#### 1. 平成 29 年度実績

支援内容	目標	実績	差異	達成率 (%)
事業計画の策定を支援した事業者の調査実施支援事業数 (社)	2	2	0	100.0
物産展等に出展する事業者の調査実施支援事業数 (社)	3	3	0	100.0
展示会・ビジネスフェア等に出展する事業者の調査実施支援事業数 (社)	3	2	△1	66.7

#### 2. 事業計画の策定を支援した事業者の調査実施支援事業

商品・サービスの販路開拓に活用するため平成 29 年 10～12 月にかけて市内居住者の中から調査に協力いただける方を選定し、自宅もしくは勤務先等で調査対象商品を実際使用したうえでアンケートに回答された内容を集計、分析し、それを基に商品の改良や販路開拓等のマーケティングについて助言と支援を行った。

#### 3. 物産展、展示会・ビジネスフェア等に出展する事業者の調査実施支援事業

物産展等に出展した事業者の中から調査を希望する事業者を選定し、出展商品に関する消費者やエンドユーザーからアンケート調査を行い、その結果を基に具体商品の改良や販路開拓等のマーケティングについて助言と支援を行った。

### 成果と課題

#### 1. 成果

- ①調査依頼事業者はこのような調査を行う経営上の余裕とノウハウがないことから調査結果報告書は、商品そのものやパッケージ等の改良、価格設定、販売促進策の検討、構築等への取組みに大きな効果があった。
- ②生活者等のナマの声を聞くことができたことで当該商品について一歩離れて客観的な視点で見直すきっかけとなった。
- ③事業者の立場である自分たちでは気がつかなかった当該商品の良さと欠点があった。

## 2. 課題

①前項2. で行ったホームユース調査では、調査内容や調査方法等の関係で協力者の選定と募集が難しかった。

②前項3. では、

- ・物産展や展示会・ビジネスフェア等の開催要領に関する情報の入手と出展事業者の確認等から調査表の作成や調査方法の事前調整等、準備に十分な時間が取れないケースがあった。
- ・出展事業者のマンパワーの不足により調査実施者がブース立寄り者に展示商品の説明を行う等、調査に専念できないケースもあった。
- ・来場者数の関係や前述の問題等で、目標とした出展ブース立寄り者の10%あるいは20%の人からアンケート調査を取るのが難しかったため、調査件数が想定していた件数集まらなかったケースがあった。

## 3. 見直しの有無

前年度実施状況から浮かび上がった出展会場での対応等、本事業の効果的な進め方を検討、見直すものの本事業は当初計画に沿って継続実施。

### 委員会評価とコメント

評価	コメント
B	<p>①事業件数目標は達成しているが、調査サンプル数が少なすぎる。</p> <p>②調査内容とアンケートの取り方等について見直しを行い、調査結果がより有効に活用できるよう取組みに工夫が必要である。</p> <p>③消費者やエンドユーザーのナマの声が直接聞ける本事業は、モノを製造する側の思いや考え方と、その商品を購入、使用する側の消費者の受け止め方とのすり合わせができ商品の改良等に効果的に取組めるので、浮かび上がった問題点への対応を行い引き続き事業を進めて欲しい。</p> <p>④展示会等における調査の実施に当たっては、中小企業診断士協会などの専門機関の活用も検討したらどうか。</p>

### 【6】新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】

#### 事業概要

平成29年9月に京王線調布駅周辺の再開発事業による新たな商業集積施設が開業することや、平成31年にはラグビーワールドカップ2019の、翌平成32年には2020年オリンピック・パラリンピックの会場が予定されており、市内流入人口の増加が見込まれ大きなビジネスチャンスが生まれる機会を活用した新たな需要の開拓に取り組む事業者を支援する。



実施結果

1. 平成 29 年度実績

(1) 商業・飲食業・サービス事業者支援事業

- ①信金等が主催する消費者を主たる対象とした物産展や、事業者を主たる対象とした展示・マッチングへ出展する事業者の出展支援（東京発！物産・逸品見本市、TOKYO 三ツ星バザール、ビジネスフェア from TAMA 等）等、商業・飲食業・サービス事業者支援事業

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
開催回数 (回)	3	3	0	100.0
出展支援者数 (社)	8	8	0	100.0
商談件数	8	—	—	—

- ②ECサイト（ニッポンセレクト、東京・多摩のおみやげ等）等、商業・飲食業・サービス事業者支援事業

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
登録事業所数(累計) (社)	44	44	0	100.0
商品登録数	131	129	△2	98.5

- ③多言語化支援事業等、商業・飲食業・サービス事業者支援事業

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
支援事業所数 (社)	10	4	△6	40.0

(2) 製造事業者支援事業

- ①ビジネスマッチング商談会等製造事業者支援事業

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
開催回数 (回)	1	1	0	100.0
参加事業所数 (社)	69	71	2	102.9
商談件数	108	122	14	113.0

- ②製造業向けWebサイト（ものづくり企業データベース検索システム）等製造事業者支援事業

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
ものづくり企業データベース検索システム登録事業所数(累計) (社)	165	144	△21	87.3

### (3) 建設事業者支援事業

○建設業向けWebサイト（住まいの便利帳等）等建設事業者支援事業

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
住まいの便利帳登録事業所数（社）	370	323	△47	87.3

### 2. 商業・飲食業・サービス事業者支援事業

- ①東京発！物産・逸品見本市、TOKYO 三ツ星バザール、ビジネスフェア from TAMA 等、信金等が主催する消費者を主たる対象とした物産展や、事業者を主たる対象とした展示・マッチングへ出展する事業者の出展を支援した。
- ②ニッポンセレクト、東京・多摩のおみやげ等のECサイト掲載を支援した。
- ③国のインバウンド対策を活用し、訪日外国人観光客を市内に呼び込むと共に市内での消費活動を促進することを目的にメニューの外国語表示化の推進を支援する等、インバウンド市場の開拓を行政や関連機関と連携して進めた。

### 3. 製造事業者支援事業

- ①特定の製造技術を持つ企業とそのような製造技術を探している企業を紹介し、お互いの持つ技術等について詳細を話し合い、技術や取引等の諸条件が合致した場合に当該企業同士で受発注を行う新たなビジネス機会の創出の場としてのビジネスマッチング商談会の開催を支援した。
- ②調布市内の製造企業が持つ製品や技術等をデータベース化して当会のホームページで公開し、製品の購入、制作依頼、若しくは技術供与を受けたい企業に情報を提供する製造業向けWebサイト（ものづくり企業データベース検索システム）を運営し、掲載事業者の販路開拓を支援した。

### 4. 建設事業者支援事業

住宅の増改築やリフォーム等、住まいに関する問い合わせや発注の情報源としての冊子「住まいの便利帳」を作成すると共に、建設業向けWebサイトを運営し、掲載事業者の受注促進を支援した。

## 成果と課題

### 1. 成果

- ①物産展やビジネスフェア等では、会場で行ったアンケート調査により販売対象予定者やエンドユーザーからの生の声を聞くことができ、事業者側の思いや想定との整合性を確認でき、商品の改良や価格設定、販売促進の方法等の見直しや具体的取組みのヒントが得られた。
- ②ビジネスマッチング商談会では、市内を含め近隣の中小企業事業者 71 社の参加と 122 件の商談が得られ新たな取引先の開拓に貢献できた。

③Webサイトへの掲載や冊子の作成、配布等を通じて参加事業者の知名度、認知度を高めることができた。

## 2. 課題

①ビジネスマッチング商談会では、事業者間の紹介や商談後の結果等が未把握のため次年度以降の改善策に向けた取組みに本事業の良かった点と問題点を十分に反映しきれていない。

②住まいの便利帳等のWebサイトでは、市内在住者等から当該サイトへのアクセス数は分かるものの、アクセスした人が実際に発注や問合せ等を行ったのかどうかアクセス後の行動がつかめていない。

## 3. 見直しの有無

当初計画に沿って継続実施するものの、物産展等での商談件数、出展ブース立寄者数、販売額等の確認を行うと共に、出展で得た調査結果等を踏まえた商品改良や価格の見直し、販路開拓への取組み等のマーケティング再構築を支援、フォローする。

## 委員会評価とコメント

評価	コメント
B	<p>①事業目標はほぼ達成している。</p> <p>②物産展やビジネスフェア等への出展事業者やビジネスマッチング商談会への参加事業者に対してアンケート調査を行い、出展会場での状況を把握し出展後のフォロー支援を効果的にできるようにすると共に次回以降の本事業の運営改善に生かすと良い。</p> <p>③ネットを活用して事業者のビジネス機会の拡大を支援していることは良い。</p> <p>④製造業、建設業における成果は素晴らしいと思う。</p> <p>⑤商業、サービス業についてもWeb対策等、事業者のビジネス機会の創出を支援して欲しい。</p> <p>⑥前項課題の②で取り上げている住まいの便利帳等のWebサイトへアクセスした人が実際に発注や問合せ等を行ったのかどうか等、アクセスした人のその後の行動がつかめるような工夫と取組みをして欲しい。</p> <p>⑦本事業による成果が定量的にも分かるよう努めて欲しい。</p> <p>⑧ビジネスマッチング商談会については、行政機関等との連携を強化してさらに拡充していただきたい。</p>



## 2. 地域経済の活性化に資する取組

地域経済の活性化に関する取組

事業概要

調布市・調布市観光協会・地域金融機関等と連携して各機関が持つ多様な地域情報やネットワークを活用し、多種多様にある地域資源を生かした地域活性化事業による「にぎわいのまちづくり」に取り組む。

実施結果

1. 平成 29 年度実績

(1) 地域経済活性化支援事業（調布市商工まつり）

	目標	実績	差異	達成率 (%)
開催回数 (回)	1	1	0	100.0
出展者数 (社)	60	66	6	110.0
来場者数 (人)	35,000	37,504	2,504	107.2

(2) にぎわいのまちづくり創出事業（食べて飲んでワンコインナイト、  
Oh!!辛チャレンジ等）

	目標	実績	差異	達成率 (%)
開催回数 (回)	3	3	0	100.0
参加事業所 (社)	63	241	178	382.5

※参加事業所数のうち、イオンシネマシアタス調布「半券サービス」企画参加事業者数は 207 社と大半を占める。

(3) 映画のまち調布関連事業（商店会CM）

	目標	実績	差異	達成率 (%)
参加商店会数 (件)	7	5	△2	71.4

2. 調布市商工まつり

調布市の商工事業者の持続的発展を目的に、出展事業者と市民が交流する場と機会を提供し、優良生産品、特産品の販売や企業製品のPRを行い「バイ調布運動」を推進することで出展事業者の販路開拓を支援した。

3. 食べて飲んでワンコインナイト

平成 24 年 3 月に策定された「調布市中心市街地活性化プラン」の中心市街地活性化基本方針「まちを回遊し賑わいを創出する」に基づいて商店街等に所在する小売・飲食業者を中心に魅力的な店や商店会をチラシ等で紹介し、市内外からの来街者の確保と市内の消費向上を促進し、参加事業者の持続的発展を支援した。

#### 4. Oh!!辛チャレンジ

市内の飲食店が「辛さ」をテーマにしたオリジナルメニューを提供することを、キャンペーン期間中チラシやポスター等さまざまな媒体を使ってPRすることで市内消費の活性化を促すと共に、キャンペーン参加店が提供する各メニューを食べてスタンプを集めそのスタンプ数に応じて抽選で景品をプレゼントするスタンプラリーによる市内の回遊性を高め参加事業者の持続的発展を支援した。

#### 5. イオンシネマシアタス調布「半券サービス」企画

イオンシネマシアタス調布の集客力を活用して市内の回遊性向上を促進し、市内事業者への客誘導を図ることで事業の持続的発展を支援した。

#### 6. 映画のまち調布関連事業

調布市内の商店会を広く多くの人に知ってもらい来街者を確保する目的で商店会CMの制作、PR活動を支援した。

### 成果と課題

#### 1. 成果

○商工まつりでは、京王線の地下化により調布駅上に新たにオープンした大型商業施設との関連効果から来場者数が目標を大きく上回り、出展事業者の売上増と知名度の向上に貢献できた。

#### 2. 課題

○食べて飲んでワンコインナイトについては、対象商店会が一巡したこと等からこれまでの事業内容と実績を踏まえて新たな事業展開のあり方等、実施要領の見直しが必要である。

#### 3. 見直しの有無

食べて飲んでワンコインナイトについては、前項課題に記載の通り新たな事業展開のあり方等を見直す時間が必要なため、平成30年度については実施しない。平成30年度は「調布市お土産SELECT事業」を新たに実施する。

##### ◆調布市お土産SELECT事業の概要

2019年9月のラグビーワールドカップ、2020年7月の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い調布市の魅力をより多くの方に知っていただくため、調布市の観光資源の一環として調布市のお土産をPRすることを目的に、市内にあるお店の自慢の商品を平成30年度に調査、選定し、平成31年度に選定された商品を「お土産冊子」として作成し、商品の魅力発信に視点をおいて小売店、飲食店を中心に活性化を図り、市内事業者の持続的発展を支援する。なお、本事業への参加目標事業所は、平成30年度、40社を選定し、平成31年度、冊子として10万部（英語版3万部、日本語版7万部）を作成、配布する。

委員会評価とコメント

評価	コメント
B	<p>①事業目標はほぼ達成し次のテーマも見つかっているので、引き続き事業の積極的な実施を期待する。</p> <p>②食べて飲んでワンコインナイトの見直しは理解できるが、それに変わる新事業として消費者にアツといわせるような事業企画が欲しい。</p> <p>③食べて飲んでワンコインナイトについては、やり方等を見直し継続実施して欲しい。</p> <p>④映画のまち調布関連事業として実施している商店会CMについては、もう一步の産業PRが必要ではないか。</p> <p>⑤商店会CMのシネコンでの上映は画期的で良かった。</p> <p>⑥「半券サービス」についてはPR不足。もっと周知努力が必要。</p> <p>⑦2019年9月のラグビーワールドカップ、2020年7月の東京オリンピック・パラリンピックの開催というビジネスチャンスを効果的に生かすため、市内商工事業者に対して早めの情報提供ができるよう関係機関との連携、担当部署への働きかけ等を進める。</p>



### 3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

【1】他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換

事業概要

調布市商工会に隣接する三鷹市、狛江市、稲城市、小金井市の商工会経営指導員で構成される北多摩南部地区経営指導員協議会の「情報連絡会議（年1回）」で、支援体制の現状や支援の成功事例等についての情報交換を行う。更に、地域だけではなく、毎年開催されている優れた全国の商工会支援事例発表会に参加して支援ノウハウ、経験の共有化を図る。

実施結果

1. 平成29年度実績

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
北多摩南部地区経営指導員協議会の「情報連絡会議」(回)	1	0	△1	0
同会議への参加人数(人)	6	0	△6	0
全国の商工会支援事例発表会	1	0	△1	0
同発表会への参加人数(人)	1	0	△1	0
地域情報交換会(回)	4	12	8	300.0
同会議への参加人数(人)	32	96	64	300.0
支援機関向けセミナー参加(回)	3	3	0	100.0
同セミナーへの参加者(人)	4	4	0	100.0
商工会職員ミーティング(回)	24	13	△11	54.2
同ミーティングへの参加者(人)	192	104	△88	54.2
理事会等(回)	15	15	0	100.0
同会議への参加者(人)	75	75	0	100.0

2. 他支援機関との連携事業

調布市産業振興課との地域情報交換会、東京都や日本政策金融公庫の支援機関向けセミナー等に参加し、職員のスキルアップを図った。

3. 商工会職員ミーティング事業

経営改善普及事業の効果的な取組みの推進に関するノウハウの共有や地域振興事業等についての情報の共有等を定期的に行うと共に、当会職員の支援能力の向上および組織内の意思疎通を図った。

なお、日々の業務の進捗状況や緊急連絡事項等に関する情報共有は毎日行う朝礼ミーティングにより意思の疎通と統一を図った。

<p>4. 理事会等事業</p> <p>定款および運営規約に定められた規約の制定、改廃、総代会の議決により理事会の採決を得ることとされた事項、重要な契約の締結、及びその他の業務運営上必要な事項についての決議を行った。</p>	
<p>成果と課題</p>	
<p>1. 成果</p> <p>①職員間のコミュニケーションがとれ風通しの良い組織風土となっている。</p> <p>②情報の共有化により当会の運営が円滑になっている。</p> <p>2. 課題</p> <p>特になし。</p> <p>3. 見直しの有無</p> <p>当初計画に沿って継続実施。</p>	
<p>委員会評価とコメント</p>	
<p>評価</p>	<p>コメント</p>
<p>B</p>	<p>①事業目標はほぼ達成している。</p> <p>②北多摩南部地区経営指導員協議会の「情報連絡会議」が開催されなかったのは残念。</p> <p>③職員の能力向上と職員間のコミュニケーションを良くとってスムーズな事業運営を期待する。</p> <p>③引き続き風通しの良い職場環境を維持してください。</p>

## 【2】経営指導員等の資質向上等

### 事業概要

東京都商工会連合会主催の研修会等へ経営指導員ら職員が年間1回以上参加することなどを通じて職員個々の支援能力の向上を目指すと共に、個々人が持っているノウハウ、ハウツーを組織内の共有知財として蓄積、継承する仕組み作りに取り組む。

### 実施結果

#### 1. 平成29年度実績

##### (1) 定量目標

事業名	目標	実績	差異	達成率 (%)
東京都商工会連合会等の主催する研修会参加(回)	20	17	△3	85.0
同研修会への参加人数(人)	31	23	△8	74.2
経営支援に関する勉強会(回)	12	4	△8	33.3
同研修会への参加人数(人)	96	32	△64	33.3

##### (2) 定性目標

事業名	実績
経営指導員の事業者に対する伴走型個別対応力と助言・指導力の向上	東京都商工会連合会が主催する研修会や能力別実務研修等に参加し、商工会の原動力である人がより高い支援力を発揮していくための職員の能力向上を図ると共に、支援機関としての中小・小規模企業の持続的発展に資する商工会の伴走型経営支援力を強化した。
継続した支援体制の組織、体制の構築	過去の指導内容が記載されている小規模事業者支援システムの入力とエキスパートバンク等を実施した指導報告書を組織内に蓄積し、人事異動後でも組織として継続した支援ができる体制を整備した。
ベテラン経営指導員の若手経営指導員等に対する職務現場での支援能力の向上	ベテラン経営指導員と若手経営指導員等とでチームを組み、小規模事業者支援を通じて指導方法や助言内容等の改善や指導を行うと共に、職員ミーティングを通じて伴走型の経営指導・助言のノウハウの共有を図る等、若手経営指導員等の能力向上に努めた。

#### 2. 経営指導員等の資質向上等事業

- ①より高い支援力を発揮するために必要となる知識の習得を図るため東京都商工会連合会等が主催する研修会に全職員が年1回以上参加し、小規模事業者の持

続的發展における伴走型の個別対応力と助言・指導力の更なる向上を図った。

②過去の指導内容が記載されている小規模事業者支援システム（電子カルテ）とエキスパートバンク制度等の経営支援実施結果報告書を蓄積し、人事異動後も組織として継続した支援が行える体制を構築した。

③若手経営指導員等については、巡回指導や窓口相談の場などにおいてベテラン経営指導員とチームで小規模事業者を支援すること等を通じて、指導法や助言内容、情報収集力、コミュニケーション力等を学ぶ機会をつくった。

**成果と課題**

1. 成果
- ①東京都商工会連合会が主催する研修会に出席し、商工会の原動力である人がより高い支援力を発揮していくための職員の能力向上と支援力強化に努めることができた。
- ②ベテラン経営指導員と若手経営指導員等がチームを組み、小規模事業者支援を通じて指導方法や助言内容等の改善、職員ミーティングを通じて伴走型の経営指導・助言のノウハウの共有と能力の向上を図ることができた。
2. 課題
- 東京都商工会連合会が主催する研修会の開催日時が当会の事業や商店会のイベント事業への参加協力と重なり出席ができなくなることがある。
3. 見直しの有無
- 当初計画に沿って継続実施。

**委員会評価とコメント**

評価	コメント
B	<p>①事業目標はほぼ達成している。</p> <p>②常にお客様目線を忘れず、礼儀作法をもって笑顔で楽しい職場を目指して欲しい。</p> <p>③当会には優秀な職員が多くいると思う。</p> <p>④今後は人事交流もある程度必要である。</p> <p>⑤日程的に参加が難しい場合は、そのときの内容を別の形で連絡、案内していただく等の工夫を行い、知見とノウハウの共有、スキルアップを図って欲しい。</p> <p>⑥経営指導員等職員が自らのスキルアップに取り組んでいることを評価する。</p> <p>⑦毎年決められた研修会に参加する必要は認めるが、職員に求められるスキルやビジネスノウハウを高める目的で他の機関が行っている研修やセミナー等への参加も検討、実施して欲しい。</p>

<b>【3】事業の評価及び見直しをするための仕組み</b>	
<b>事業概要</b>	
毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について（仮称）経営発達支援計画推進委員会にて評価・検証を行う。	
<b>実施結果</b>	
<p>1. 平成 29 年度実績</p> <p>(1) 経営発達支援計画推進委員会構成員 調布市商工会会長、副会長（2名）、商業部会長、工業部会長、建設業部会長、サービス業部会長、調布市産業労働支援センター担当課長、中小企業診断士等専門家の9名</p> <p>(2) 経営発達支援計画推進委員会開催日時および会場</p> <p>①開催日時 平成 30 年 7 月 4 日（水） 10:00～12:00</p> <p>②会場 当会会議室</p> <p>(3) 本事業の成果・評価・見直しの結果等に関する理事会への報告</p> <p>○報告日 平成 30 年 7 月 27 日（金）</p> <p>(4) 本事業の成果・評価・見直しの結果等の当会ホームページ公開日 平成 30 年 7 月 30 日（月） 予定</p>	
<b>委員会評価とコメント</b>	
評価	コメント
B	<p>①有効な意見交換ができた。</p> <p>②資料は事前に配布して欲しい。</p> <p>③初めての試みとしては良かった。</p> <p>④今回得た知見等を踏まえた事業運営を期待する。</p>

以上